



積極的に考へる態度

社長 オブアーツ 星 一

本篇は二月十七日開催の特約店大會に於ける演説の一節である(記者)

世間には商賣上の事や人との交渉事などに就て寝て考へるといふ人も多いやうですが、私は寝て考へては決して確な考へは出ないと思ふ。何となれば横臥又は仰向の形は、元來、人に組伏せられた敗者の状態か休息の状態か若くは病者の状態である。もつと極端と云へば死人の状態である。そんな状態で思案したのでは決して活潑々地の正しい良い考へは出まいと思ふ。出ないのみならず又た衛生にも大害がある。神經衰弱やヒステリーに冒されて墓場から出たやうな顔をしてゐる男女の多くは皆夜寝ながら何か下らないことをくよくよ考へるからである。寝るつもりで枕に就いたならば明日の事は又朝早く起きて考へることにして、何事も思ひ煩ふことなしに安眠しなければならぬ。

死の間を彷徨してゐる状態である。だから座禪でも組んで冥想に耽り以て死生問題を研究する場合などには適するかも知れないけれども、直ちに實行を要する現實問題を攻究する態度としては餘りに齒痒い。況や火鉢に倚り掛つて手を焙りながら考へるといふに至ては隠居じみた爺臭い消極的の考へしか出ないのである。故に此の世の中で何か活々とした仕事に従事して發展向上を圖らうとした場合には須らく先づグツと息を吸い込んで下腹に力を入れて悠々と歩きながら考へる、それも陰氣な屋内で試みてはいけない、光線の照り輝く外に出て、繁昌する店の飾り方や

拒婚同盟よりも
健康診査
吉岡彌生

拒婚同盟に就ては平塚さんが見えられて賛成してくれとの事でしたが私といたしましては、夫れよりも根底となる可き問題があらうと存じます。法律を以て制定されても實行は困難でありまして(獨逸の如に行はるればよろし



シカゴの政治家は泥棒又は罪人として出て来る(記者曰、シカゴのみならんや)

電車、汽車、自動車又は自轉車などが斷なく四通發達に活躍する状態を見ながら考へる。そうして家に歸つて、自分の店の飾り方や家の者の働き振りと比較して、其の弛緩した非能率な所をドンドンと矯正して行つて、緊張努力の生活を送るやうにすれば、如何なる人間も如何なる家も、將た又、如何なる者も必ず發展向上すると疑ひない。

情實が生じたりしては無駄な事ですから、先づ法文よりも各人の自覺に據るのが何より大切であると存じます。即ち結婚は人生の大事でありますから精神的にも勿論であります。肉體上に於ても慎重の態度をとらなければなりません。その體格、遺傳性、現在の病氣の有無を厳正に調査しないと取返しのつかぬ事になります。拒婚同盟は花柳

病を専らにしてゐますが夫れよりも最も恐ろしいのは結核で、花柳病は接しなれば感染しないが結核は夫れのみならす其家族に傳染せしめ、出産して間もない婦人が死去したりする事が往々あります。又花柳病も微毒は遺傳があるが淋病は遺傳でなく感染するもので、結婚一週間位で身體に變化が起り放棄してをきまずと子宮内膜炎やその他のいろ／＼の病氣になり、不妊(その原因の七八分は淋病)の原因を作り延いてはヒステリーに罹り不幸な生活を送らなければなりません。中流の會社員方面の夫人たちには斯うした方が多うございませぬ。それで私は藝妓の全廢を唱へてをります。若し行はれないとすれば公娼の如く檢査を斷行して貰ひたい、夫れと同時に双方が道徳的に自覺して病氣を治すと共に婦人は男子の自覺と相俟つて權威を以て之に對して公に正直な双方の體格を知る必要がありませぬ、これは決して耻しい事でもなんでもありません。

私は斯うした見地から病氣の恐るべき事と情慾を抑制して欲しいといふことを天下に向つて宣傳したい、と存じてをります。立派な有力な人格者が率先してお唱へ下されば世界中で一番結核や花柳病の多い無自覺な日本人も自覺してくる事であらう、と考へてをる次第でございます。